

首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の概要

常磐道～東関東道連絡に向けて前進中。
快適な暮らしを未来に広げる
「圏央道」です。

圏央道（首都圏中央連絡自動車道）は、都心から半径40～60kmの位置に計画されている総延長約300kmの自動車専用道路です。東名高速、中央道、関越道、東北道、常磐道、東関東道などの放射状の幹線道路や、東京湾アクアラインとつながり、首都圏の広域幹線道路網を形成します。首都圏の道路交通をスムーズにし、経済の活性化や暮らしづくりに役立つ重要な幹線道路として、今後約10年で圏央道全体を完成させます。

交通の流れをスムーズに。
圏央道の4つの役割

- 1 分散導入機能**
渋滞のない道を選んで通ることができます。
- 2 バイパス機能**
都心を通すだけの車が減って、渋滞が少なくなります。
- 3 地域間移動機能**
遠くのまちとの行き来がスムーズになります。
- 4 災害時などの迂回機能**
事故や災害の時、ほかの道路に迂回ができます。

首都圏を変える道路、「3環状」。その開通はいつ頃か、お知らせします。

